

第 19 回関西 MISt 研究会 開催報告

平成 29 年 4 月 1 日(土)に大阪の TKP ガーデンシティ東梅田にて第 19 回関西 MISt 研究会を開催いたしました。ご報告を申し上げます。

今回は「脊椎外傷に対する低侵襲化へのこだわり」をテーマにプログラムを組ませていただきました。関西のみならず岡山、広島、香川、高知、静岡、北海道、熊本などから 111 名の参加をいただき、盛会のもとに無事終了しました。過去最高参加者数を記録しました前回の第 18 回関西 MISt 研究会を超えて、関西 MISt 史上最多参加者数とのことで、御協力いただいた皆様に深謝申し上げます。今後とも右肩上がりの参加者の増加を目指して参りたいと存じます。

ビデオセミナーでは、脊椎外傷への低侵襲化へのこだわりとして聖隷浜松病院 佐々木寛二先生、高知医療センター 時岡孝光先生、神戸赤十字病院 菊地剛先生、東大阪医療センター 松森裕昭先生にお願いしました。止血手技、頸椎から骨盤外傷に対する低侵襲手術手技の詳細や特徴、ピットフォールなど、動画を交えて講義をいただきました。

その後、一般演題をご発表いただきました。一般演題は川崎医大、福山市民病院、神戸赤十字病院から、脊椎骨盤外傷に対する発表がなされ、活発な討議が行われました。

特別講演は 2 題あり、新潟市民病院 整形外科副部長 澤上公彦先生より「胸腰椎損傷における低侵襲手術の有用性と課題」という演題名で、日本でも有数の症例数を治療されている最前線施設からの胸腰椎外傷に対する系統だった治療戦略を解説いただきました。また、山梨大学医学部 整形外科学講座 准教授 江幡重人先生より「LLIF の重大合併症を予見する一解剖学的検討」という演題名で、LLIF に必要な解剖知識も含め、わかりやすく解説いただきました。今後、重大な合併症を確実に回避するための必要不可欠なご講演でありました。会員一同になり代わりまして、両先生に深甚の謝意を述べたいと思います。

その後前回に引き続き、MISt に関わるコメディカルの皆様やこれから MISt を始める若手の先生方向けにコメディカルセッションに 3 題(神戸赤十字病院、関西医大総合医療センター、みどりヶ丘病院)を ご発表頂き、ハンズオンを開催させて頂きました。ハンズオンは 6 社、器械展示も開催し、大変熱気のある会を開催できました(写真添付)。夕方からの情報交換会では神戸西市民病院、兵庫医大、関西医科大学総合医療センターより、症例検討会がなされました。

今回の研究会を成功裏に終えることができたのも多くの先生方やサポート頂いた共催の旭化成株式会社や協賛の各メーカー様のおかげと存じます。御参加・御発表いただいた先生方には深く感謝申し上げます。

次回の第 20 回関西 MIST 研究会は、平成 29 年 10 月 21 日（土）に関西電力病院 整形外科部長 藤尾圭司先生のもとで開催される予定となっております。

会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

伊藤康夫（神戸赤十字病院 整形外科）

